

未来創生

Create the Future

市長に就任してから2年が経過し、任期の折り返しを迎えました

この間、コロナ禍の難局に立ち向かい、ワクチン接種などの感染防止対策、市民生活の支援・地域経済の活性化に向けた市独自施策を迅速に実施してまいりました。

羽曳野の未来創生に向け、行財政改革による体質改善を図りながら、各施策・事業を推進し、スピード感をもって市政運営を進めているところです。

この1年に取り組んだ「主な取り組み」や「財政状況」について、広報8月号・9月号の2カ月にわたってご紹介させていただきます。



安全・安心なまちづくり 市民の安全・安心を確保する取り組みを進めています

■防災・減災機能の充実や、地域防災力の強化

- ・必要な資機材を備蓄する防災倉庫の整備、感染症対策も含めた災害用備蓄物資の確保
- ・地域における防災研修会の開催、防災訓練の支援
- ・災害時における民間事業者等との連携・協力の拡充（災害協定の締結：計27件（令和4年7月現在））
- ・職員を対象にした防災訓練や研修の効果的な実施

■羽曳野警察署と連携した主要幹線道路周辺への防犯カメラの設置

■良好な生活環境の保全を図るため、民間事業者と連携し、空家の流通や利活用を促進

■ペットの犬や猫が迷子になった際に、飼い主のもとへ少しでも早く戻すことができるよう、大阪府内初の取り組みとしてマイクロチップ装着にかかる費用を一部助成

■振り込め詐欺や還付金詐欺等の犯罪被害を未然に防止するため、高齢者を対象とした自動通話録音装置の無料貸出し（令和4年10月～）

など



▲防犯カメラ設置（イメージ）



▲市職員対象の防災訓練

健康・福祉の充実と向上 一人ひとりのライフステージに応じた健康づくりを進めています

■75歳以上の高齢者に対するインフルエンザ予防接種の公費負担の拡充（令和4年10月～）

■がんに罹患された方に対し、がんとの共生による生活の質の向上を支援するため、医療用ウィッグ購入にかかる費用の一部助成

■骨量減少の早期発見・予防の促進に向け、骨粗しょう症検診について、市内医療機関における個別方式に転換、検査方法の精度向上

■西園域において民間事業所による地域包括支援センターを開設

■見守りネットワーク事業の充実のため、認知症高齢者が行方不明になった際の早期発見に向け、スマートフォンを使用し、周辺地域の協力者に捜索依頼を行うこと

■ができる無料アプリの普及啓発、アプリと連動したステッカーの利用にかかる初期費用を助成（令和4年9月～）

など



▲インフルエンザ予防接種（イメージ）

みまもりあい
プロジェクト



▲見守りネットワーク事業
アプリと連動したみまもりあいステッカーの利用にかかる初期費用の助成（令和4年9月から）

子育て支援・学校教育の充実 未来を担う子どもへの投資をしっかりと行っています

- 「向野こども園」を開園
- 「向野こども園」および「こども未来館たかわし」の全児童に対して給食提供を開始
- 保護者との情報共有の円滑化等を図るため、「向野こども園」および「こども未来館たかわし」に登園管理システムを導入（こども未来館たかわしは令和4年度中に導入）
- 安全でゆとりある教育・保育環境を確保するため、**埴生幼稚園保育室を増築整備**（令和4年度・5年度で整備）
- 就学前児童数の園児数の推移や保護者のニーズ等を踏まえた、質の高い教育・保育環境を確保するため、**就学前教育・保育のあり方に関する基本方針の見直し**
- 制度や組織による縦割りの壁を越えた、切れ目のない包括的な支援を行うため「**こどもえがお部**」を創設
- 養育費の不払いによるひとり親家庭の困窮化を防止するため、**養育の取り決めにかかる公正証書等の作成費用や養育費保証契約に要する費用を助成**（令和4年10月～）
- 市役所内に授乳室を設置**（市役所本館1階）
- 個別最適な学びの実現と学習意欲の向上に向け、**AI機能を有する学習アプリを導入**
- 効果的な授業を展開するため**ICTを活用した教育を推進**
- 外国語教育の充実と多文化共生教育を推進するため、**外国語指導助手（ALT）を増員**

など

- 教育環境のさらなる充実や指導力の強化を図るため、**指導主事を増員**
- 市立学校園の食に関する取り組み支援等を行うため、**市費負担による栄養教諭を配置**
- さらなる児童健全育成を図るため、**留守家庭児童会の土曜日の通年開会**
- 不登校児童・生徒への支援の充実に向け、**西地域において適応指導教室を試行的実施**

など



▲学習アプリを使った授業



▲授乳室の設置



▲向野こども園の開園（園舎と遊ぶ園児）



交通・インフラ整備の促進 駅周辺やインフラの整備などの整備に取り組んでいます

- 大阪府と連携して進めている**一般府道郡戸大堀線歩道整備の早期完成を促進**するとともに、**恵我ノ荘駅前南側広場の整備**に向け、関係機関との協議を積極的に推進
- 西浦交差点の円滑な交通流の確保に必要な整備工事に向けた予備設計を実施**
- 第6次水道施設整備事業として、**壺井配水池の更新工事や伊賀受水場・低区第2配水池間の送水管の更新・耐震化工事**を実施するとともに、エネルギー・環境問題にも配慮した**西浦受水場改良工事**に着手
- 都市計画道路八尾富田林線の**藤井寺工区**の整備と連動して進める**雨水管整備に向けた実施設計**に着手
- 公共下水道普及の促進、水洗化率のさらなる向上を図るため、**水洗便所改造資金助成制度を拡充**

など



▲伊賀受水場の送水管の更新・耐震化工事



未来創生

Create
the Future

市長に就任してから2年が経過し、 任期の折り返しを迎えました

広報8月号に引き続き、この1年に取り組んだ「主な取り組み」と「財政状況」「新型コロナウイルス感染症対策 市独自施策」についてご紹介します。
タイトルの『未来創生』にあるように、これから魅力ある羽曳野市をカタチにするため、さらなる成長・発展に向けた歩みを進めてまいります。

羽曳野市長 山入端 創



市民協働・地域自治 市民の声をお伺いする機会を充実しています

- 市民の意見等を市政に反映し、地域の実情に即したまちづくりを推進するため、公募形式のタウンミーティング（対面形式 / オンライン形式）や、市内7地区における地域区長懇談会を開催

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等により変更する場合があります。

- 事業者や大学等との公民連携の推進（令和3年8月以降の協定締結〔包括、個別、災害〕計30件）

など



▲地域区長懇談会の様子



▲包括連携協定締結式
（令和4年7月 大阪大谷大学）

魅力あるまちづくり 豊かな地域資源や特性を最大限に活かした取り組みを進めています

- さらなる返礼品の充実（406品目）により、令和3年度のふるさと納税寄附額が1億円超えに（令和元年度比6倍強に）

- 観光によるまちづくりを推進するため、（仮称）羽曳野観光局を設立（令和4年10月設立予定）

- 当市にゆかりのある、ダルビッシュ有氏がスポーツ・観光大使に、笑福亭仁智氏が文化大使に就任

- 高鷲北幼稚園跡地において、安全で安心してボール遊びができる広場の整備

- 民間事業者と連携し、大阪府立環境農林水産総合研究所が墓山古墳の濠水から培養したオリジナル産業用酵母を用いた特産品の開発促進

- 公有化した史跡地の周知を図るため、史跡地等への解説看板を設置

- 藤井寺市とともに古市古墳群の保存・活用に向けた取り組みを強化

- 多様なニーズや新たなライフスタイルに対応するため、パソコンやスマートフォン、タブレットで電子書籍が閲覧できる電子図書館サービスの導入（令和4年10月～）

- 図書館を利用しやすく、利用の促進を図る図書館アプリの運用・読書手帳の配布、Twitter・Instagramによる情報発信

など

羽曳野市公式 YouTube チャンネルより



▲羽曳野の魅力が詰まった返礼品をご用意しています。（時期によって写真の返礼品が終了している場合があります）

▶安全で安心な、ボール遊びができる広場の整備を進めています。（高鷲北幼稚園跡地）



※イメージ図



※スマホイメージ画面

▲図書館アプリは、スマホなどにバーコードを表示、提示で本を借りられます。予約も簡単！

行財政改革の推進 徹底した行財政改革を力強く推進しています

- ICTによる利用者の利便性の向上・業務の効率化の推進
 - ・行政手続きのオンライン化の推進
 - ・申請書などの文字を読み取りデータ化するAI-OCRを導入
 - ・金融機関への預貯金照会を電子化するシステムを導入
 - ・議会運営においてタブレット端末の導入による議案のペーパーレス化等を推進
- 持続可能な行財政運営や受益者負担の公平性の観点から、住民票の写し・所得証明書等の各種証明書の交付手数料等を改定（令和4年10月～）
- 持続可能な下水道事業の経営健全化に向け、下水道使用料を改定（令和5年4月～）
- 耐震性能や老朽化等の課題がある市役所本館の新庁舎整備にかかる基本構想・基本計画の策定

- 人事評価制度において実績評価を導入
- 公共施設の効率的な運営に向けた指定管理者制度の拡充（令和4年4月から道の駅しらとりの郷・羽曳野、グラウンド・ゴルフ場に導入。峰塚公園にも導入予定。）
- 公共施設の運営の見直し（図書館に休館日の設定・高年生きがいサロンの開館時間の変更）

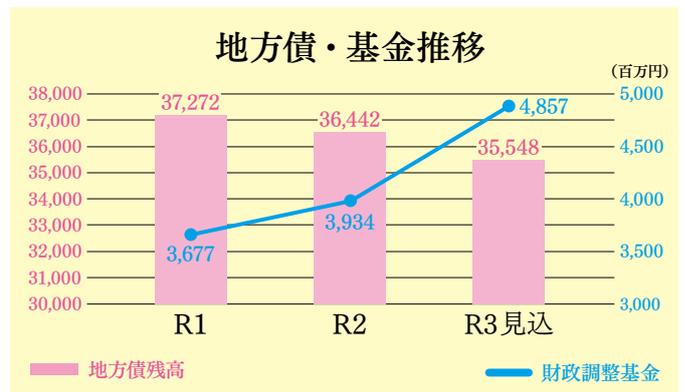
など



▲現在の羽曳野市役所本館と議会棟（昭和49年1月落成）

財政運営

財政状況については、借金にあたる「地方債」の残高を着実に減らしながら、自主財源の増収策を講じるとともに、総事業の見直しによる事業費の削減等により、貯金にあたる「基金」の残高は増えています。しかしながら、今後予定される庁舎や給食センターの更新事業などに伴って「地方債」残高の増加が見込まれるなど、財政状況の厳しさは増していくものと考えられるため、引き続き、財政規律をしっかりと守りながら、メリハリをつけた財政運営を行ってまいります。



新型コロナウイルス感染症対策 令和4年度 市独自施策

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける、市民生活への支援や地域経済の活性化に向けた取り組みを進めています。

- インフルエンザ予防接種にかかる費用を受験を控えている中学3年生・義務教育学校9年生、高校3年生を対象に公費助成（令和4年10月～）
- 多子世帯の児童・生徒の保護者に対して小学校・中学校の給食費を助成
- 新型コロナウイルス感染症対策（密の防止）や熱中症防止、指定避難所としての環境改善を図るため、小・中・義務教育学校における体育館の空調設備を整備（令和4年度・5年度で整備）
- コロナ後における当市の観光・シティプロモーションの促進（PR動画等の策定）
- 市民1人あたり最大5,000円分のプレミアム付き商品券（はびきの暮らし応援商品券）を販売
⇒1冊5,000円分の商品券を2,500円で販売。
≪還元率100%≫1人2冊まで購入可能。

